

農業試験場水稻試験圃の生育状況(令和2年)

農業試験場八重森圃場(標高348m)

調査時期	調査項目	あきたこまち				コシヒカリ				風さやか(参考)			
		前年(R1)	平年	本年(R2)	平年差	前年(R1)	平年	本年(R2)	平年差	前年(R1)	平年	本年(R2)	平年差
移植後 20日	主稈葉数(枚)	6.0	6.6	6.4	-0.2	6.2	6.6	6.4	-0.2	5.4	6.6	6.5	-0.1
	草丈(cm)	25	27	28	103%	26	30	30	99%	24	30	29	98%
	茎数(本/m ²)	172	199	240	121%	147	214	289	135%	158	226	266	118%
移植後 30日	主稈葉数(枚)	7.5	8.4	8.3	-0.1	7.5	8.1	8.4	+0.3	6.9	8.2	8.3	+0.1
	草丈(cm)	27	36	43	121%	29	36	48	135%	26	34	43	126%
	茎数(本/m ²)	316	428	475	111%	301	430	558	130%	299	487	550	113%
移植後 40日	主稈葉数(枚)	9.3	9.7	9.6	-0.1	9.4	9.7	9.6	-0.1	9.0	9.7	9.9	+0.2
	草丈(cm)	39	50	51	102%	43	49	56	114%	37	42	46	109%
	茎数(本/m ²)	586	596	636	107%	612	649	640	99%	642	712	735	103%
幼穂形成期	期日(月日)	7/8	7/6	7/8	+2	7/16	7/13	7/13	±0	7/18	7/17	7/16	-1
出穂期	期日(月日)	7/30	7/27	7/28	+1	8/7	8/5	8/6	+1	8/11	8/8	8/9	+1
成熟期	期日(月日)	9/10	9/7	9/7	±0	9/18	9/15	9/14	-1	9/24	9/23	9/22	-1
	稈長(cm)	80	88	86	98%	95	96	98	103%	80	82	79	97%
	穂長(cm)	18.2	18.6	18.9	102%	19.0	18.5	19.2	104%	17.5	17.0	18.3	107%
	穂数(本/m ²)	478	483	441	91%	551	509	491	96%	473	473	485	102%
	玄米重(kg/a)	70.8	66.9	67.6	101%	65.7	63.2	64.6	102%	74.8	72.6	74.8	103%
	千粒重(g)	21.0	21.8	21.1	97%	21.3	21.6	20.3	94%	21.6	22.5	20.5	91%

平年値：平成25年～令和元年のうち収量最高、最低年を除く7中5年の平均（風さやかは平成26年～令和元年の平均）
 移植期：令和2年5月20日、苗質：中苗、移植法：1株3本手植え、栽植密度：22.2株/m²(30cm×15cm)

平年対比は収量の最多、最小を除く7中5年の値との比較値。玄米重は1.85mm篩データを使用。

<概要>

移植後20日の生育は、いずれの品種も主稈葉数、草丈は平年並みであり、茎数は平年より多い。

移植後30日の生育は、いずれの品種も主稈葉数は平年並み、草丈、葉数は平年より進んでいる。

移植後40日の生育は、いずれの品種もおおむね平年並みとなった。

幼穂形成期は「あきたこまち」で平年より2日遅く、「コシヒカリ」で平年並み、「風さやか」で1日早かった。

出穂期は「あきたこまち」、「コシヒカリ」、「風さやか」ともに平年より1日遅かった。

稈長、穂長、穂数ともに概ね平年並みであった。

成熟期は、「あきたこまち」で平年並み、「コシヒカリ」、「風さやか」で平年より1日早かった。

玄米重（篩目1.85mm）はいずれの品種も概ね平年並みであった。千粒重はやや小さかった。

いずれの品種も登熟歩合が高かったことから平年並みの収量を確保できたと考えられる（「あきたこまち」87%、「コシヒカリ」81%、「風さやか」80%）。